

# 福井工業大学 後援会会報

Fukui University of Technology 2018

平成30年9月15日発行

57

福井工業大学  
後援会

〒910-8505 福井市学園3丁目6番1号  
電話(0776)29-7864  
FAX(0776)29-7891  
E-mail koenkai@fukui-ut.ac.jp



## 特集 みさきち [6~8P]

### 医務室からのお知らせ [9p]

- ・平成30年度 福井工業大学後援会 定期総会 地区懇談会報告 [2~5p]
- ・クラブ・同好会紹介 [10p]
- ・高い就職率を誇る就職支援について [12~13p]
- ・「OCPS」のご案内 [14~15p]
- ・先生の声 [16~17p]
- ・大学院進学について [18~19p]
- ・学内奨学金制度の紹介 [20p]

就職セミナー「親にしかできない、子供へのサポート」のご案内 [22p]

秋季保護者個別懇談会のご案内 [23P]

参加申込期限は9月28日(金)です。

福井工業大学後援会

会長 入場賢則



後援会会員の皆様におかれましては、日頃より後援会活動にご理解とご協力いただきまことにありがとうございます。五月の定期総会にて、後援会会長を仰せつかりました入場賢則です。精一杯努めさせていただきますので、よろしく願います。

本年度、新たに掛下学長をお迎えし更に進化していく福井工業大学で学生一人一人が力を発揮し各分野で羽ばたいて行ってくれることと親として思っています。

さて、後援会活動は3つの事業を中心に行っています。保護者懇談会事業では6会場にて大学からの教育報告会や就職報告会、保護者個別懇談などを行っています。個別懇談では各学科の先生方から直接大学での様子や成績など聞くことができ、参加される保護者の方も増えています。学生支援事業ではクラブの遠征費や大学祭の補助、キャリアアセンダーと連携し就職手帳の配布などを行っています。広報・通信事業では後援会報を年2回発行しています。

後援会では学生が充実した大学生活を送れるようサポートしていきたいと考えています。

昨年度は初めて大学祭に模擬店を出店し参加させていただきました。学生たちの生き生きとした活動に我々が力をもらいました。今年度も参加したいと考えています。

今後とも後援会活動への皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

皆様からのご意見等がございましたら後援会事務局（庶務課）までご連絡ください。

## 地区懇談会報告及び、今後の抱負など

福井工業大学後援会

副会長 寺部 静祐

平成30年度の石川地区懇談会と富山地区懇談会に参加させて頂きました。今回は石川地区懇談会について述べさせて頂きます。石川地区懇談会は、6月3日(日)に石川県勤労者福祉文化会館にて保護者15名の参加にて開催され、竹田学長補佐をはじめ14名の教職員と大学関係者、同窓会からは3名の役員の方が出席されました。

懇談会の開式にあたり大学を代表され竹田学長補佐からご挨拶をいただきました。その後教育報告会では、冒頭にDVDによる大学の状況が上映され、続いて竹田学長補佐より教務、学生生活、進路に関する大学の取り組み報告がありました。学生に対する大学側の取り組みや細やかな配慮を聞き、保護者の一人として嬉しく思いました。

続いて、同窓会の役員方から同窓会活動についてのご紹介があり、福井工大の卒業生が仕事の最前線でも多くの方が活躍されているとお話を伺うことができました。

引き続き、就職報告会が開催され就職支援課 渡邊課長より現在の就職状況や就職活動についてのご説明がありました。大学側のきめ細かい就職サポートに親として感銘を受けました。

お昼には懇親会があり、各学科別に担当教員の先生方と一緒に食事しながら、大学についてのお話を聞いたりして親睦を深めることができました。是非、今後も懇親会は続けたいと思います。

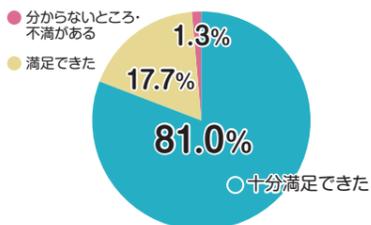
今回は、2地区の懇談会に参加させて頂きましたが各会場とも大学の近況や学生生活の状況を聞くこととする熱心な保護者の方が多数おられたことが印象に残りました。また、私自身は、教職員、同窓会、後援会が三位一体となり学生をサポートする重要性を改めて実感しました。

今年度、後援会の新たな試みとして、2・3年生の保護者の方々を対象として就職セミナーを9月に滋賀地区、10月に福井地区で開催する予定です。多数の参加して頂ければ幸いです。

今後とも後援会活動にご理解とご協力をお願い致します。

### 地区懇談会保護者アンケート (たくさんのご回答ありがとうございました)

#### Q 平成30年度 地区懇談会について



#### Q 昼食を兼ねた大学側・保護者との懇親会の実施について

- 抜粋**
- ・学年を超えて、また、いろんな学校内の職員の方々と交流できて良かった。
  - ・大学の様子が説明より詳しく聞ける。
  - ・保護者の子供への考え方がいろいろ聞ける。
  - ・大学関係者、他の保護者との親交が深まる。
  - ・資料等では分かりにくいニュアンス等が聞ける。
  - ・個別懇談前に先生の人柄も少し分かり、懇談時に話しやすいと思う。
  - ・他の保護者との情報交換ができ、有意義な時間となった。
  - ・同じ思いのお母さんと話すことができ、自分だけでないと感じることができた。

#### Q 教員との保護者懇談について

- 抜粋**
- ・子供の友だち関係や今後のゼミ選択、就職や進学等についておおよその話を聞け、こちらの思いも伝えられた。
  - ・とても親身に話を聞いていただき、とても心強く思った。
  - ・勉強のことだけでなく、学校での状況を聞けて良かった。
  - ・大学の様子が聞けたり、子供のことについてもお話できた。
  - ・丁寧に対応してもらい、親切に答えてもらった。
  - ・聞きたいことがゆっくりに聞けて良かった。
  - ・子供のことを、よく見てくれて良かった。今の実情を話してもらえ、これから先の子供に対する要望も話してもらえ、来て良かった。

#### Q 学生サポートへの要望等について

- 抜粋**
- ・授業の欠席が続くようだったら、保護者に連絡がいくシステムがあればうれしい。親の目を離れて暮らすと怠けるのが心配。
  - ・一人暮らしのため、病気になった時のサポートをお願いしたい。
  - ・学食を少し安価なものも考えてもらいたい。
  - ・予防接種（はしか等含む）、自転車保険加入など制度が変わったことへの案内を学生全体に伝えてほしい。
  - ・インフルエンザ予防接種の補助  
(今年度の締め切りの日をHPにあげてほしい)

#### Q 大学への意見・要望等について

- 抜粋**
- ・履修登録時に本人へ単位取得方法を含め、より具体的に指導をお願いしたい。
  - ・手厚い指導を頂いて感謝している。
  - ・度重なる欠席やレポート不提出など、学生本人の怠学が見られる場合、保護者への連絡をしてもらえるとう助かる。留年が決定する前に何らかの手立てをすることができないのではないかと。
  - ・全般に渡り大変細やかな対応をして頂きありがたく思った。口コミでこの大学の良さを広げていきたいと思う。
  - ・来てよかった。身近に感じられた。
  - ・求人情報等の資料があり、とてもよく分かった。
  - ・きめ細かい指導をもらい、助かっている。

- ・大学での様子を伺えたことが貴重な時間だった。これから先の大学での過ごし方、授業の向き合い方など、先生からしか伺えなかった話を聞けたので、子供にも早速話したいと思う。
- ・色々な行事、奨学金関係、先生方に良くして頂き子供をこの大学に入学させて良かったと思う。地区懇談会も初めて参加したが大変良かった。
- ・先生から直接子供の様子を聞くことができ、とても有意義だった。
- ・寮での生活のため、学食がほとんどになる。特に油の多い食事ばかりでなく、夜は胃にやさしいメニューも取り入れてもらえるとう親としてもとても安心できる。
- ・初めて参加させてもらった。大学について詳しく話をしてもらえ、息子は恵まれた環境で素敵な先生方から学ばせて頂いていること、子供のために教職員の方々が努力されていることを知ることができた。

### 平成29年度 福井工業大学後援会 役員任期満了者

下記名簿の方々は、平成29年度をもちまして後援会役員が任期満了となりました。任期中は、後援会の運営に多大なる貢献をいただきました。

つきましては、感謝の意を込めて感謝状並びに額縁を贈呈させていただきます。

平成30年5月26日



役職名	氏名	役職名	氏名
会長	西澤 徳一郎	理事	亀山 元文
副会長	橋本 尚一	理事	大原 弘資
理事	藤田 美津子	理事	的場 尚
理事	坂田 賢子	理事	久島 美紀
理事	播重 心子	理事	梁村 晃幸
理事	岡田 博子	理事	中谷内 美昭

# 平成30年度 収支予算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

[収入の部] (単位 円)

項目	前年度決算額	本年度予算額	差引	備考
会費	17,257,500	16,875,000	△ 382,500	
会費	17,257,500	16,875,000		@7,500×2,250名
雑収入	237,126	250,000	12,874	
雑収入	237,126	250,000		預金利子等
繰越金	10,625,054	10,119,705	△ 505,349	
前年度繰越金	10,625,054	10,119,705		
収入合計	28,119,680	27,244,705	△ 874,975	

[支出の部] (単位 円)

項目	前年度決算額	本年度予算額	差引	備考
会議費	442,200	500,000	57,800	
会議費	442,200	500,000		定期総会、役員会等諸経費
需要費	702,014	780,000	77,986	
消耗品費	113,334	150,000		角2封筒、目隠しシール等
通信費	502,280	530,000		会報発送、定期総会、地区懇談会案内発送等
印刷費	86,400	100,000		上記案内資料等印刷代
事業費	14,533,121	16,250,000	1,716,879	
厚生補導費	805,000	850,000		新入生歓迎パーティー、インフルエンザ予防接種補助等
クラブ活動費	7,847,024	8,000,000		地区大会、全国大会出場補助
英語留学支援費	1,116,000	1,500,000		海外語学研修 TOEIC 団体受験補助
就職支援費	1,074,720	1,500,000		就活手帳配布、キャリアセンター事業
地区活動費	2,327,117	3,000,000		地区懇談会実施費用
創立記念積立金	300,000	300,000		
会報発行費	1,063,260	1,100,000		年2回発行予定
慶弔費	10,000	50,000	40,000	
慶弔費	10,000	50,000		
旅費	1,287,584	1,000,000	△ 287,584	
旅費	1,287,584	1,000,000		式典等における役員移動費
大学祭補助費	1,000,000	1,000,000	0	
大学祭補助費	1,000,000	1,000,000		
雑費	25,056	30,000	4,944	
雑費	25,056	30,000		
予備費	0	7,634,705	7,634,705	
予備費		7,634,705		
支出小計	17,999,975	27,244,705	9,244,730	
繰越金	10,119,705	0	△ 10,119,705	
次年度繰越金	10,119,705	0		
支出合計	28,119,680	27,244,705	△ 874,975	

[積立金会計] (単位 円)

名称	前年度残高	今年度積立額	今年度取崩額	今年度末残高	備考
創立70周年記念積立金	2,401,625	300,000	0	2,701,625	

# 平成29年度 収支決算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

[収入の部] (単位 円)

項目	予算額	決算額	差引	備考
会費	16,500,000	17,257,500	△ 757,500	
会費	16,500,000	17,257,500	△ 757,500	
雑収入	250,000	237,126	12,874	
雑収入	250,000	237,126		預金利子、学園からの収入
繰越金	10,625,054	10,625,054	0	
前年度繰越金	10,625,054	10,625,054	0	
収入合計	27,375,054	28,119,680	△ 744,626	

[支出の部] (単位 円)

項目	予算額	決算額	差引	備考
会議費	500,000	442,200	57,800	
会議費	500,000	442,200	57,800	定期総会役員会等諸経費
需要費	620,000	702,014	22,986	
消耗品費	120,000	113,334	6,666	事務用品
通信費	400,000	502,280	2,720	会報発送、定期総会役員会等案内発送
印刷費	100,000	86,400	13,600	上記案内資料等印刷代
事業費	15,750,000	14,533,121	1,216,879	
厚生補導費	850,000	805,000	45,000	新入生歓迎パーティー運営費インフルエンザ予防接種
クラブ活動費	8,000,000	7,847,024	152,976	地区大会、全国大会出場補助
英語留学支援費	1,500,000	1,116,000	384,000	海外語学研修 TOEIC 団体受験補助
就職支援費	1,500,000	1,074,720	425,280	就活手帳配布、キャリアセンター事業
地区活動費	2,500,000	2,327,117	172,883	地区懇談会(春季・秋季)実施費用
創立記念積立金	300,000	300,000	0	
会報発行費	1,100,000	1,063,260	36,740	4月・9月会報発行
慶弔費	50,000	10,000	40,000	
慶弔費	50,000	10,000	40,000	
旅費	1,000,000	1,287,584	△ 287,584	
旅費	1,000,000	1,287,584	△ 287,584	式典等における役員移動費
大学祭補助費	1,000,000	1,000,000	0	
大学祭補助費	1,000,000	1,000,000	0	
雑費	30,000	25,056	4,944	
雑費	30,000	25,056	4,944	
予備費	8,425,054	0	8,020,054	
予備費	8,425,054	0	8,020,054	
支出小計	27,375,054	17,999,975		
繰越金	0	10,119,705	△ 10,119,705	
次年度繰越金	0	10,119,705	△ 10,119,705	
支出合計	27,375,054	28,119,680	△ 744,626	

[積立金会計] (単位 円)

名称	前年度残高	今年度積立額	今年度取崩額	今年度末残高	備考
創立70周年記念積立金	2,101,268	300,357	0	2,401,625	

# 平成30年度

# 後援会定期総会報告について

平成三十年五月二十六日(土)に福井工業大学福井キャンパスにおいて、平成三十年度福井工業大学後援会定期総会が開催されました。

総会には、掛下学長をはじめとする大学役員の出席を賜り、学長挨拶では、掛下学長より、本学の教育方針や取組を含めた本学の説明、大学を取り巻く社会的環境等についてお話がありました。

議案審議前に西澤議長より今年度、総会員数二三〇一名の中、委任状八四六名、総会五十四名の出席をもって、後援会規約第九条第四項により総会成立の報告がされました。

報告議案では、第一号議案「平成二十九年事業報告」、第二号議案「平成二十九年取支決算報告」について一括して事務局より説明が行われました。併せて中上監事より、会計が適正に処理されていた旨、監査報告があり両議案とも満場一致で承認されました。

協議議案では、まず、第一号議案「役員選出」が審議されました。平成二十九年取支決算報告、副会長職者が任期満了となることに伴い、今年度は、新たに会長一名・副会長二名・監事一名、新任理事十二名、計十六名の方々が、役員会にて選出されたことが事務局より報告され、満場一致で承認されました。

平成三十年度の役員承認を受けて、平成二十九年取支決算報告をもって役員任期が満了となった十二名の方へ大学を代表し掛下学長より感謝状、額縁が贈呈されました。

新会長に就任された入場氏より、就任挨拶として「後援会活動の三つの事業(①大学運営に寄与すること、②学生の福利厚生増進に寄与すること、③会員相互の連絡親睦を図ること)を中心に、学生が充実した大学生活を送れるようサポートしていきたい」と抱負を述べられました。

第二号議案「後援会規約(案)の改正」が審議され、後援会規約の改廃は第七章第二十三条により役員会にて審議し、総会の承認を得て会長が行うことが報告されました。事務局より規約改正に至った経緯及び主な条文の変更等が説明され、後援会規約(案)の改正は、満場一致で承認されました。

第三号議案「平成三十年度事業計画(案)及び収支予算(案)」での審議では、事業計画(案)として「保護者懇談会事業」「学生活動支援事業」「広報・通信事業」についての年次計画の説明が行われました。

今年度、新規事業として保護者対象(学部二年生、三年生)に就職セミナーを滋賀会場(九月八日)、福井会場(十月二十日)の二回開催することが事務局より説明されました。

収支予算(案)では、例年どおりの事業実施に伴う収支予算であることが説明され、事業計画(案)、収支予算(案)は、満場一致で承認されました。

全ての議案審議が終了し、平成三十年度福井工業大学後援会定期総会が閉会されました。

## 平成30年度 福井工業大学後援会役員

会長 福井県 入場 賢則

副会長 福井県 中上 弘一  
監事 福井県 中屋 斉明

副会長 福井県 寺部 静祐  
監事 福井県 齋木 るい子

理事 福井県 田中 和美  
理事 富山県 遠 良之  
理事 福井県 和田 真一  
理事 福井県 湯浅 英雅  
理事 福井県 東川 千里  
理事 福井県 家根田 文代  
理事 福井県 杉野 一美  
理事 福井県 武田 美奈  
理事 福井県 竹内 清訓  
理事 福井県 上田 厚美  
理事 愛知県 佐々生 里美  
理事 兵庫県 山本 修一  
理事 富山県 松井 義行

理事 富山県 川村 美貴子  
理事 滋賀県 中西 有  
理事 石川県 中山 信吾  
理事 福井県 石田 祥美  
理事 北海道 内藤 亜美  
理事 岐阜県 山中 温美  
理事 岐阜県 兀尾 仁  
理事 三重県 小島 香緒  
理事 群馬県 富沢 俊文  
理事 石川県 元田 理香  
理事 石川県 山口 美保  
理事 富山県 柳田 毅  
理事 福井県 田中 勇

理事 福井県 森 正三郎  
理事 福井県 高島 直子  
理事 福井県 吉田 ますみ  
理事 福井県 酒井 保典  
理事 福井県 中川 寿美江  
理事 福井県 内藤 京子  
理事 熊本県 安川 純  
理事 静岡県 葎田 隆則  
理事 福岡県 魚住 亜弥  
理事 京都府 杉本 一也  
理事 和歌山県 井元 晴彦  
理事 和歌山県 中野 貴史  
理事 滋賀県 吉原 邦彦

# みさきち

若狭町みさき漁村体験施設

遊んで・学んで・泊まれる

2018年7月1日  
グランドオープン!!



廃校となった旧岬小学校を宿泊研修施設としてリニューアルしました!!  
ゼミ合宿、クラブ等合宿、仲間との楽しい思い出作りに利用しませんか??

「みさきち」でバーベキューを堪能しました



参加者に聞きました!

- 機会があればキャンプもやってみたい。
- せっかくこのような素晴らしい施設があるので、今後も利用したい。
- きれいな海で泳いでみたい。



「みさきち」体験レポート  
留学生国際交流体験に利用しました

part.2

西浦地域づくり協議会 会長からのメッセージ

「みさきち」は、地域の方々や卒業生の思いを尊重し、できる限り閉校となった旧岬小学校の雰囲気を残して改修した施設です。

「みさきち」での様々なイベントによって、過疎化が進む西浦地区に再び子どもたちの明るい声が戻ってくることを期待しています。

今後も福井工業大学さんのイベントにはできる限りお手伝いをしていきたいと思っています。

福井工業大学の学生さんだけでなく、保護者の皆様にもぜひ利用してもらいたいと考えています。



西浦地域づくり協議会  
会長 松本 弘康

## ◆◆ みさきちの魅力 ◆◆

SUP体験



釣り



魚さばき



キャンプ



BBQ



青の洞窟

海藻入り麺を試作して  
“オリジナル麺を食べてみよう”



環境・食品科学科3年 林くん、長谷川くん、東くん

公開講座を手伝っていた  
学生さんに聞きました!

- Q. 「みさきち」での公開講座はどうでしたか?  
A. 自然に囲まれた環境での実験は新鮮だった。  
A. 地域の方々楽しんでもらえたら嬉しい。
- Q. プライベートでも「みさきち」を使いたい?  
A. 2階に和室があり、使ってみたいと思う。  
A. 交通手段があれば、ぜひ利用したい。

「みさきち」体験レポート

part.1

若狭町との連携事業として公開講座を開催しました

講座の参加者に聞きました!

- 柔らかいマシュマロが一瞬でカチコチに、しかも食べることができ、これまでの固定概念が覆された感じです。(保護者)
- 子どもたちも普段体験できないことが、近く(「みさきち」)で学ぶことができ良い経験になりました。(保護者)
- ポップコーンがおいしかったです。(お子様)
- 「みさきち」での公開講座を通して、若狭町の方々が福井工業大学を身近に感じていただけただけ嬉しく思います。(実験担当教員)

「液体窒素でカチコチ」  
～お菓子&果物を食べてみよう～



## 建 物 内 紹 介



体験調理場



体育館



大研修室



BBQ施設



宿泊室



宿泊室



宿泊室



メディアルーム

他/グラウンド 洗濯・乾燥・ロッカー室 浴室 食堂 交流スペース 談話室 セミナー室

## 料金表 (福井工業大学生対象)

施設利用料	(1人1泊)		(1団体)					
	宿泊室	キャンプ利用	体験調理場	グラウンド	体育館	メディアルーム	研修室 大	研修室 中小
8:30～12:00	2,500円	1,000円	1,500円	2,000円	1,500円	1,500円	1,500円	1,000円
13:00～17:00			1,500円	2,000円	2,000円	1,500円	1,500円	1,000円
18:00～22:00			2,000円	2,000円	2,000円	2,000円	2,000円	1,500円
終 日			5,000円	3,500円	5,000円	5,000円	5,000円	3,500円

※上記宿泊料金表には、食費は含まれておりません。  
※宿泊すると1日間のみ施設利用料が無料になります。

■ みさきちホームページ  
<http://www.fukui-ut.ac.jp/misakichi/>

■ Facebook アカウント  
@wakasa.misakichi

■ お問い合わせ先  
みさきち受付窓口 ☎0776-29-2435 (大学事務局 社会連携推進課内)

## Information from the medical office

# 医務室からの お知らせ



充実した学生生活を送るためには、心身ともに健康であることが大切です。「自分の健康は自分で守る」事ができるよう医務室では学生の皆さんの健康をサポートをしています。

本大学は大学2号館学務課横に医務室が設置されており、看護師1名が常勤で配置され、大学生の健康管理や健康相談、応急処置を行っています。

以下にその活動内容を簡単に紹介いたします。

### ① 定期健康診断について

本学では例年4月に、新入生を含め、在校生全員を対象に法令に基づいた「定期健康診断」を実施しています。

検査項目は学年によって若干異なりますが、計測(身長・体重・視力測定・検尿・胸部X線撮影・内科診察・血圧測定・健康面接)を行っています。

2018年の受診率は、1年次生99.7%、2年次生95.2%、3年次生94.1%、及び4年次生は93.0%とどの学年も高く、定期健康診断の受診が年々学生の間に定着してきており、1年に1回、自身の健康を振り返る良い機会となっています。

定期健康診断の結果、精密検査等が必要と認められた方には、後日、医務室より個別に連絡し、医療機関受診を勧め、その結果を医務室に報告していただき、治療が必要になった方には在学中健全に学生生活を過ごせるように健康管理・健康相談を継続して行っています。

健康診断の結果は個人結果表を医務室に一人一人取りに来ていただいています。今年度より新たに血圧測定を検査項目に追加しました。結果表を取りに来られた時に、やや血圧が高めな方や、BMI値により肥満の判定が出た方には資料を用いて食生活や生活習慣の改善

善について指導しています。

その結果、今までも血圧を測ったことのない学生が、ちょっと空いた時間に医務室に立ち寄り、血圧を測定していく、というように、自分の健康について関心を持ち、生活習慣を見直すよい機会になっています。

### ② 病气やけがの応急処置について

医務室では看護師が体調がすぐれないときや、けがをした時の応急処置などを行っています。また、体調が回復するまでしばらく休養したい、持病があるため授業の空き時間に休養したい等の時に利用することも可能です。また、様々な症状により医療機関の受診を希望される場合、近隣の医療機関を紹介しています。

全学生が加入している本学独自の学生健康保険組合より、病气やけがによって医療機関で健康保険証を使用して診察治療を受けた場合、支払った医療費の7割が給付されます。申請先は学務課になります。ご不明な点やご質問は、学務課または医務室までお問い合わせください。

### ③ インフルエンザ予防接種、麻しん予防接種について

本学は毎年10月～11月頃に、学生対象のインフルエンザ予防接種を学内で行っていきます。予防接種は医療機関で接種すると通常実費で3,200円～4,200円程かかりますが、当大学で受けた場合、後援会より1,000円、学生健康保険組合より500円の補助が受けられ、昨年度は1,700円の負担額で受けることができました。学生の間でも感染予防意識が高まり、2017年度は408名の学生が学内予防接種を受けています。今年度もご支援をお願い致します。その他、今年春に流行が懸念されました麻

### ④ 感染症対策について

学校施設は集団生活を営む場であり、感染症が発生した場合、特に大きな流行拡大を引き起こす危険性があります。毎年流行するインフルエンザやノロウイルスについて、予防方法などを早期のうちから情報発信し、注意を呼びかけています。感染拡大が懸念されるこれらの症状が発症した場合は、速やかに医療機関を受診し、診断が出た場合は登校せず、電話にて学務課に報告していただき、指定の期間出席停止となります。流行時期はマスクの無料配布なども行い、学内の公衆衛生を守る活動を積極的にを行っています。

### ⑤ 終わりに

大学生活を送る4年間は、一人暮らしを始めるなど生活環境が大きく変わったり、保護者と同居していても生活全般がその管理下から外れ、食事の摂取の有無も含め、学生自身が自由に生活スタイルを決定する機会が増えます。この時期の健康管理は将来の生活習慣病発症予防のためにも非常に重要です。この大切な時期に健康について自分自身で考えて行動する力が養えるよう、必要な情報を発信するなど、4年間を通してサポートしていきます。健康に関してなど、何か困ったことがある方は、医務室に相談にいらしてください。心身ともに良好な状態で充実した学生生活を送っていただくことを心より願っております。

# 卓球を楽しむ

# 卓球部



近年、卓球の日本チームがオリンピックや世界卓球などで目覚ましい活躍を魅せています。福井工業大学でもまた、卓球がとても熱く盛り上がっています。

私たち卓球部は、昨年から、もつと卓球で活躍したいと望むメンバーが集まり日本学生卓球連盟（日学連）へ登録しました。以前までの卓球を楽しむという事をモットーとした活動には一区切りし、試合に挑み勝負することの楽しさに目を向けました。今の私たちは、ただ楽しくプレーをするだけでなく試合に勝つという新たな目標に向かっていきます。

平成30年度第1回協議会では、これまでの同好会という立ち位置を一新し、気持ちの切り替えとともに部として新たにスタートを切りました。より一層、卓球で活躍できるようにチーム一同邁進していく所存です。今後とも卓球部の応援よろしくお願ひします。

部長 機械工学科 2年 古澤 勇樹

キャプテンとして、部活をうまく引っ張っていき事が出来るか不安なことは沢山ありますが、仲間の力を借りながら自分出来る一杯の仕事をしたいと思っています。「北信越リーグ1部昇格」を目標にチーム一丸となって頑張ります。応援よろしくお願ひします。

キャプテン 機械工学科 2年 宮下 蔵太



僕たちは、卓球が好きな者達が集まって動いています。次第に、ただ集まって卓球するだけではなく試合に出て勝ちたいという目標ができました。何度か大会に出るうちに、団体でも個人でも勝ち進んで上を目指したいという思いも強くなりました。何度か悔しい思いもしているので、次の大会に向けて部員一丸となり日々精進していきます。これから、僕たち卓球部をよろしくお願ひします。

副キャプテン 建築土木工学科 2年 山本 健太

## 活動実績

- 2017年10月29日(日) 平成29年度秋季市長杯 一般一部男子 シングルス 2位 宮下蔵太 3位 山田晃平
- 2017年12月16日(土)17日(日) 第48回北信越学生卓球新人選手権大会 ・団体戦 〈予選リーグ〉 福井工業大学 3-1 金沢大学B 福井工業大学 0-3 新潟産業大学A ↓予選2位通過 (決勝トーナメント) 福井工業大学 1-3 金沢工業大学A ・個人戦 〈ダブルス〉 ベスト32 伊藤凌・山本健太 ベスト64 宮下蔵太
- 2018年2月4日(日) 平成29年度福井市選手権大会 一般S級男子シングルス 予選リーグ2位通過 本線トーナメント1回戦敗退 山田晃平
- 2018年2月13日(火)16日(金) 平成30年度北信越学生卓球連盟春季選抜強化合宿参加者 山田晃平、伊藤凌
- 2018年3月21日(祝・水) 平成29年度福井市団体選手権大会 一般S級男子団体戦 3位 福井工業大学A・同志社大学
- 2018年5月4日(祝・金) 平成30年度春季市長杯 一般S級男子シングルス ベスト8 宮下蔵太 ベスト16 山本健太、東響希
- 2018年5月12日(土)13日(日) 第66回春季北信越学生卓球選手権大会兼第88回全日本大学総合卓球選手権大会 (団体 予選 ・団体戦 〈2部Aリーグ〉 福井工業大学 0-3 金沢大学 福井工業大学 3-1 新潟工科大学

- ・個人戦 〈シングルス〉 伊藤凌 3回戦敗退 東響希 3回戦敗退
- 〈ダブルス〉 伊藤凌・東響希 3回戦敗退
- 2018年6月24日(日) 第5回敦賀市近郊卓球交流大会 (硬式の部) 男子団体 下位リーグ1位通過 下位トーナメント2位 福井工業大学B

No.	学 役 職	所属学科	学生氏名
1	学 長	原子力技術応用工学科	小川 貴裕
2	副学 長	スポーツ健康科学科	澤崎佑之介
3	会 計	電気電子工学科	酒井 涼成
4		電気電子工学科	山田 晃平
5		機械工学科	鯉目 仁太
6		機械工学科	長谷川 権一
7		機械工学科	古澤 勇樹
8	部 長	機械工学科	宮下 蔵太
9		建築土木工学科	伊藤 凌
10		建築土木工学科	橋本 治生
11		建築土木工学科	山本 健太
12	副キャプテン	環境・食品科学科	原 祥太
13		電気電子工学科	荻野 陽色
14		電気電子工学科	コウテンヨウ
15		電気電子工学科	任田 龍生
16		機械工学科	東 響希
17		機械工学科	西村 光司
18		原子力技術応用工学科	下山 拓記
19		経営情報学科	杉田 達哉
20		経営情報学科	豊田 大樹
21		経営情報学科	三輪 洋介



## 後期行事予定

月	日	行 事	月	日	行 事
9月	18日~20日	後期受講登録ガイダンス	1月	7日	授業再開
	21日	後期授業開始		中旬	学園成人式
10月	20日~21日	大学祭	2月	上旬~下旬	卒業研究発表会
	22日	大学祭 後片付け		3日~	春季休業
12月	27日~	冬季休業	3月	15日	学位記授与式
	1月			~6日	30日

※上記日程は変更となる場合があります。

## 後期受講登録ガイダンス ネットワークセキュリティ講習会について

9月18日	9月19日	9月20日
火	水	木

学年、学科毎に日時が指定されています。詳細はHPに掲載しております。

### ガイダンスおよび ネットワークセキュリティ講習会の持ち物

1. 学生便覧
2. 学生証
3. アカウントカード (ネットワークセキュリティ講習会のみ)
4. 筆記用具
5. ノートパソコン、電源ケーブル (ネットワークセキュリティ講習会のみ)
6. LAN ケーブル (ネットワークセキュリティ講習会のみ)

## 高い就職率を誇る福井工業大学の就職支援

就職活動が本格化する3年次からは、実際の就職試験に万全の体制で臨むことができるよう、ガイダンスやセミナー、各種対策講座などを数多く実施しています。スキルアップに励む学生を応援するために、資格取得支援講座の開講やインターンシップなども行っています。さらに民間企業経験のある職員やキャリアカウンセラーなどの専門職員を学科ごとに配置し、就職担当教員と連携を図りながら、一人ひとりの学生にあった指導に取り組んでいます。

### 1年次 *first year student*



**自己発見レポート活用ガイダンス**  
入学時に大学生基礎力調査を受けます。その分析結果を学んで、自分の強みと課題を知り、今後の学生生活に役立てる講座です。

### 2年次 *second year student*



**業界研究セミナー**  
県内の企業を訪ねて、企業等の魅力を知り将来の就職に向けて視野を広げてもらうことを目的とした見学ツアーを行っています。

### 3年次



**就職ガイダンス (年9回)**  
年9回の就職ガイダンスを実施しています。就職の準備にむけてきめ細かな指導を行っています。



**身だしなみ・メイクアップ講座**  
化粧品会社スタッフを講師に招き、就職活動に役立つメイクや面接で好印象を与える身だしなみ等をアドバイスしていただきます。

### *third year student*



**都市圏就職活動セミナー就職EXPO**  
インテックス大阪・ポートメッセ名古屋等で開催される『就職EXPO』に参加します。大勢の学生が参加しています。



**ヴォイストレーニング**  
現役アナウンサーを講師に招き、面接に必要な『伝わる声』『伝わる話し方』などをアドバイスしていただきます。

## キャリアセンター就職支援課

(大学1号館3階)

キャリアセンター就職支援課は、学生の将来の夢を実現してもらうために、入学時から4年間を通してキャリア形成・就職支援に取り組んでいます。



*Career Center*

希望職種や将来の設計など学生との会話から就職先のアドバイスを行います。

### 就職実績

〈就職率=(就職決定者÷就職希望者数)×100〉

**98.3%**  
平成27年3月卒

**98.5%**  
平成28年3月卒

**99.3%**  
平成29年3月卒

**99.6%**  
平成30年3月卒  
※平成30年5月1日現在

### 4年次



**学内企業合同説明会**  
3月に632社の企業をお招きして、金井講堂にて合同説明会を開催しています。

### *fourth year student*



**学内企業個別説明会**  
全国からたくさんの企業に来学していただき、企業個別説明会を開催しています。

# OCCPS

## Overseas Challenge Program for Students

### のご案内

福井工業大学は、異文化を理解する心を持ち、グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、様々な海外留学プログラムを実施してきました。海外での就業体験を通して将来のキャリア形成の動機づけを目的とした「海外インターンシップ」、福井工業大学附属福井高等学校の姉妹校（タイ王国）での日本語授業にアシスタントとして参加する「日本語アシスタント研修」、長期休暇を利用して海外の交流協定大学や語学学校で語学力向上と国際感覚の養成を目指す「海外語学研修」等、魅力的で充実したプログラムです。そして、平成三十年度、これらの活動の総称を「OCCPS」と名付け、学生の皆様のますますの国際化をサポートしてまいります。また、自発的かつ、挑戦的に海外留学を希望した学生を支援する新しい制度「Seize the day」が今年度より開始しました。福井工業大学の「OCCPS」は、海外留学体験を通じて、学生の皆様のさらなる成長を期待してやみません。保護者の皆様方もぜひ、ご子息、ご息女の「Overseas Challenge」を後押しいただければと思います。



### 海外インターンシップ

平成30年度 実施

- 研修国 タイ、ベトナム
- 研修先 福井県内外企業10社以上
- 対象学年 3年生
- 研修期間 8月18日(土)～9月9日(日)
- 参加人数 29名
- 参加費 プログラム経費無料  
(生活費等は自己負担です)



### 日本語アシスタント研修

平成30年度 実施

- 研修国 タイ
- 研修先 福井工業大学附属福井高等学校姉妹校 3校
- 対象学年 3年生
- 研修期間 8月18日(土)～9月9日(日)
- 参加人数 6名
- 参加費 プログラム経費無料  
(生活費等は自己負担です)



### 夏季海外語学研修

平成30年度 実施

- 研修国 アメリカ
- 研修先 カリフォルニア州立大学サンマルコス校
- 対象学年 1～4年
- 研修期間 8月29日(水)～9月13日(木)
- 参加人数 13名
- 参加費 50万円

- 研修国 イギリス
- 研修先 ロンドンハウス スクールオブイングリッシュ
- 対象学年 1～4年
- 研修期間 8月20日(月)～9月6日(木)
- 参加人数 6名
- 参加費 40万円

まもなく  
募集開始!



### 春季海外語学研修

平成30年度 実施予定

- 研修国 オーストラリア
- 研修先 サザンクロス大学
- 対象学年 1～3年
- 研修期間 2019年2月頃～3月頃

詳細は別添「オーストラリア語学研修のご案内」をご参照ください。

## 海外留学支援制度 「Seize the day」

概要 海外の文化を理解し、グローバル社会で活躍する志をもった真の国際人になるため、自発的に海外留学を希望した学生を支援することが目的です。

この制度に採用された学生には、留学に要する経費の一部を福井工業大学が支援します。



詳細は福井工業大学 インターナショナルセンター（国際交流課）にお問い合わせください。なお、ホームページにて情報公開しています。

<http://www.fukui-ut.ac.jp/ut/international/ocps/>

福井工業大学  
インターナショナルセンター（国際交流課）  
Tel:0776-29-2786  
E-Mail:international@fukui-ut.ac.jp

Overseas Challenge Program for Students

voice /

## 強くて壊れにくい 構造用金属材料の開発



工学部  
機械工学科  
准教授  
安田 洋平

4月に機械工学科自動車システムコースに着任した安田洋平と申します。自動車会社を辞職し、博士の学位を取得した後、各地で研究員を務め、この度念願かなって教員職へ就けました。現在は、福井工大で学生の教育を行えることに嬉しさを感じつつ、自身の研究を続けています。

私の専門は、自動車会社時代から、強くて壊れにくい物の設計です。最近流行りの学問分野と比べると地味ですが、世の中に必要不可欠な学問だと思っています。特に最近興味のある対象は、構造用金属材料です。身近な例では、自動車のボデーフレームに使われている鋼板や、橋梁のケーブルルワイヤなどです。構造材料は製品の強度を担うため、その性質には強さが求められることはもちろん、製品が変形して

もすぐに破壊せず、ある程度伸びる性質(延性)も求められます。

金属の強度や延性といった特性は、金属の微視組織に由来します。そして微視組織の特性は材料の原子組成に依存しており、どのような組織が形成されるかは熱処理が関わります。今日優れた材料が多数存在するのは、材料屋さん日々熱処理や原子組成に関して研究を続けられてきたおかげです。しかし、金属の原子レベルでみたミクロの挙動、微視組織レベルのサブミクロンでの挙動、そして構造材料レベルで見たマクロな挙動を関連づける力学の理論体系はまだ出来上がっていません。

そこで私は、分子動力学法などのミクロな視点から得られた知見を、マクロな挙動の検討方法である有限要素法に構成式という形で取り込みました。そこから、微視組織の界面特性が材料の延性に大きく影響するとう知見を得られました。今後、材料の力学挙動に関する理論体系が構築され、材料にブレイクスルーがもたらされることを期待し、今後も研究活動を続けたい次第です。

voice /

## 防災意識・防災力の向上を図る



工学部  
建築土木工学科  
准教授  
西川 隼人

今年の6月18日に大阪府北部で最大震度6弱の地震が発生したように、近年、西日本を中心に震度6弱〜7の強い揺れを伴う地震が多発しており、近い将来の発生が懸念されている南海トラフ地震の前触れとの指摘もあります。大規模地震に対する被害軽減対策は喫緊の課題であり、本研究室では人的被害、経済的損失を軽減するために「事前」と「事後」に分けて、研究活動に取り組みしております。

まず、「事前」の地震被害予測のために、微弱な振動を利用した地盤調査や地震時の揺れやすさの評価を行うとともに、地盤の良し悪しの建物被害に及ぼす影響を調査しています。また、建物の耐震診断の促進を図るために、小型で低価格のセンサを用いた測定装置

を開発し、簡単に建物の耐震性を調べることができるよう研究を進めております。

「事後」すなわち、地震発生後、早期の建物被害状況を把握することを目的として、地震の規模などから震度分布推定や木造住宅の被害状況推定の研究に取り組みしております。来年度以降の卒業研究においては、担当させて頂く学生の方々とともに、「地震時の室内被害状況の把握や対策」、「防災教育のための疑似的災害体験ARアプリの開発」にも取り組んでいく予定です。

また、2年生、3年生の授業において、課題解決型学習(Project-Based Learning)を通して、学生の方々に身近な地震リスクを考えて頂くことにより、学生の方々の防災意識や防災力の向上を図るとともに、自ら被害軽減対策を講じて頂くことにより、課題解決能力を養うよう、指導していく所存です。

教育活動、研究活動により一層精進して参りますので、今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

voice /

## 環境・食品問題を 基盤研究から考える



環境情報学部  
環境・食品化学科  
教授  
小松 節子

地球温暖化による異常気象や世界的人口増加による食糧問題等、私達の周りには多くの問題が投げかけられている。農林水産業分野では、将来の地球規模でのこれら問題の解決に大きく寄与するものとして、マーカー選抜育種や遺伝子組換え技術により画期的な作物の開発が期待されている。そして、新品種開発の鍵となる農業上重要な遺伝子の単離およびその機能解明において、国際的に熾烈な研究競争が行われている。バイオマーカー探索や生物機能解明研究に利用されている技術のひとつとして、プロテオミクス解析技術

がある。プロテオミクス解析は、生物機能発現の直前に位置するタンパク質群を包括的に解析することである。特に日本では、ダイズやコムギを加

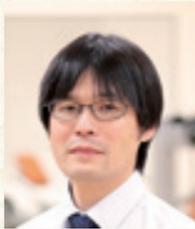
工して様々な食品として利用されているために消費量は多いが、ともに過湿害等の環境ストレスに弱く輸入に頼っている。タンパク質群を包括的に解析することにより、環境ストレス下の作物内で起こっている現象を解明して、バイオマーカーになりうる有用遺伝子の単離につなげようと考えている。研究室では、好奇心旺盛で研究熱心な卒業研究生や早期配属生とともに、タンパク質科学的技術や分子生物学的手法を利用して、問題解決に向けて、研究に取り組んでいる。

地域連携に力を入れている本学の方針に基づき、地域に貢献できる研究を学生とともに探っていきたい。一方で、日本に留まらず多くのアジア・オセアニア諸国も、環境ストレス下の作物の生育不良等の問題を抱えている。問題解決を目指すためにも、さらに学生達が国際的視野にたつて考える力を養うことを期待して、本年度は、マレーシアや中国からの外部研究生を受け入れ研究交流を深める計画である。今後この試みは継続していきたいと考えている。

voice /

## 運動生理学のススめ

— 研究フィールドはヒマラヤ、南極、宇宙、オリンピック! —



スポーツ健康科学部  
スポーツ健康科学科  
講師  
前川 剛輝

スポーツ関連の企業で働いた後、ふとしたきっかけから体育学を学ぶべく大学に進学、そして研究の道へ足を踏み入れることになりました。大学での「運動生理学」の講義において、筋肉中の熱発生に関する研究によりノーベル生理学・医学賞を受賞したPflügerの研究に触れる機会がありました。筋肉の機械的動作の仕組みを解明した研究の一端に触れ、運動・スポーツの背景にある生理学的な側面に刺激を受けたことを覚えています。そして運動生理学研究の門を叩き、ヒトの「身体能力の限界」や「環境への適応能力」に興味を持ち研究に努めてきました。

運動生理学は、運動によって身体の機能や構造にどのような変化が生じるのか、その現象や仕組みについて研究を行う学問です。福井工大・運動生理

学研究室(前川研究室)では、運動刺激や環境刺激に対する身体の適応現象について研究を行います。運動をするとお腹が空いたり、汗が出たり、心臓がドキドキします。試合に負けた夜は涙が止まりません。それでもいつかは眠くなります。そのような時、私たちの身体の中ではいったい何が起きているのか。その疑問の解決の一助となる学びが運動生理学です。

ヒトの身体適応を研究するフィールドは多岐にわたります。体育・スポーツ現場だけではなく、ヒトが活動する全てが研究のフィールドです。過去の研究の協力・対象者は、世界最高齢でエベレスト登頂を成し遂げた登山家、南極観測隊、高地民族、オリンピックのメダリストなど様々です。特殊な環境(酸素の少ない環境、極端な低温環境など)へのヒトの適応能力の研究では、その環境へ赴く人の健康・安全管理に関する研究が行われ、それら研究によって得られた成果が、体育・スポーツ現場の安全管理や新たなトレーニングにも応用されています。これら「運動生理学の魅力」を、卒業研究を通じて伝えられたらと模索する日々です。

# 本学大学院 のご紹介

## 大学院進学への勧め

文部科学省の平成29年度学校基本調査（速報値）によれば、高校卒業者の現役大学進学率は49・6％です。高校卒業者の2人に1人が大学に進学している状況下で、大学在学中の就職活動を有利に展開するためには何らかの差別化を図る必要があります。福井工業大学ではキャリアセンターを中心に学生のキャリア形成や資格取得支援に力を注いでいます。こうしたキャリア形成や資格取得に加え、社会に出てからの活躍の場をさらに広げるための選択肢として大学院進学があります。平成5年度と平成25年度における大学卒業生および大学院修了者の就職動向の比較を文部科学省のWebサイト「参考URL①」で見ることができますが、製造技術者に占める修士課程修了者の割合は平成5年度（22・5％）から平成25年度（50・4％）の20年間で倍増しています。全国平均で理工系学部で大学卒業生の約4割が大学院に進学している現状を考えますと、今後製造技術者に占める大学院修了者の割合は増えることはあっても減ることはないと言えます。本学では、学生自身の努力や卒業生の企業での活躍等により、99・6％（平成30年3月卒業生実績）という全国レベルでもトップクラスの就職率を誇っています。就職先で長年にわたって働くためには、自分で研究

開発した製品が社会を支えている、プロジェクトリーダーとしてチームをまとめているなどの達成感や満足度が、より大切であると言えます。ご子息・ご息女が製造技術者や研究開発者として充実感を抱きながら、他の大学院修了者と同じ土俵で互角以上に渡り合えるように大学院進学をお勧めします。

## 本学大学院のご紹介

本学大学院の工学研究科には、応用理工学専攻と社会システム専攻の2専攻が設置され、いずれも博士前期課程（修士課程、2年間）と博士後期課程（博士課程、3年間）が設けられています。各専攻には改組前の学部学科に対応したコースがあり、学部からの一貫教育によってより高度な専門知識と技術を身につけることができます（本学大学院の構成については本学ホームページも御覧下さい）。博士前期課程では、2年間で30単位を修得することが修了要件の一つとなっています。学部（4年間で124単位修得）に比べてゆとりがあるように感じられるかもしれませんが、これは大学院では研究に取り組むことが前提になっているからです。研究活動を通して、社会で役立つ論理的思考力や課題解決能力、さらにはプレゼンテーション能力を高めていきます。本学大学院では研究業績等によって在学期間を短縮することもでき、最短3年間で博士（工学）の学位を取得することも可能です（詳しくは学務課にお問い合わせ下さい）。また、大学院学生にはティーチング・アシスタント（TA）として実験や演習等の教育補助業務を依頼しています。TAによる補助業務は、教えることを通じて自ら学ぶという教育的配慮の下に行われているものであり、TAを経験することによって実力が向上し、人間的にも大きく成長することになります。

## 進学のための経済的支援

学部の4年間に博士前期課程の2年間が加わるとなる経済的な負担を懸念されることと思います。本学では、大学院入学予定者で、本学での学習意欲を持つ者に対し、選考により学納金を減免する大学院進学奨励奨学金制度があります。第1種は本学学納金50％減免、第2種は本学学納金と国立大学大学院標準額（授業料）の差額を減免します。さらに、本学では大学院入学科が不要なため、入学初年度は国立大学大学院に比べて入学科（282,000円）の分だけ安くなります。博士後期課程では、平成30年度入学予定者で、本学での学習意欲を持つ者に対し、選考により学納金を100％免除する大学院進学奨励奨学金制度（本学学部卒業または本学大学院博士前期課程を修了していない者は、初年度のみ設備充実費年額170,000円が必要ですが）を導入し、進学のための経済的支援をさらに拡充します。また、前述したTA業務では一人当たり月額4〜5万円支給されますので、学納金や、生活費を賄えることとなります。就職後の初任給も前期課程修了者と学部卒業者とは月額で2〜3万円の差がありますので、大学院進学に要した費用は比較的短期間の内に取り戻すことができると言えます。

大学院で過ごす年月は密度が高く、極めて有意義です。専門技術者として研究開発部門で活躍するというご子息・ご息女の希望を叶えるために、保護者の皆様方には本学大学院については是非「一考下さいませ」ようお願い申し上げます。

参考URL① [http://www.next.go.jp/a\\_menu/koutou/sangaku2/1351875.htm](http://www.next.go.jp/a_menu/koutou/sangaku2/1351875.htm)

## 社会システム学専攻

(博士前期課程／博士後期課程)

社会システム学専攻では、安全・安心で持続可能な社会システムの設計・構築・管理運用に関わる土木工学、建築学、デザイン学、経営情報学の4つのコースを設置。各コースの専門分野の教育と研究を行っています。博士前期課程では、広い視野と高度な専門知識を備えた創造性豊かな人材の育成、博士後期課程では、建築・社会基盤の計画・調査・設計・施工・維持管理や情報社会の構築に貢献できる専門知識と応用能力、研究能力を備えた人材の育成を目指しています。

### 土木工学コース

土木計画学、水工学、環境工学、地盤工学、構造工学の各分野の教育・研究を通じて、社会基盤施設の計画・設計・施工・維持管理および自然環境の保全を考究し、安全・安心な社会の構築に寄与できる人材を育成します。

### 建築学コース

建築計画・意匠、建築環境・設備、伝統木造建築、建築構造工学の各分野の教育・研究を行い、個々の建築はもちろん、都市・地域社会との調和を図り、快適な都市・居住空間の実現に貢献できる人材を育成します。

### デザイン学コース

生活創造科学、生産・環境デザイン学、情報・伝達デザイン学の各分野の教育・研究を行い、豊かな生活環境を生み出すための魅力的な提案とその実現に貢献できる高度な専門性を備えた人材を育成します。

### 経営情報学コース

情報通信技術の企業経営への応用、情報通信技術に関する教育・研究を行い、望ましい情報社会の構築に向けて積極的に提言し、貢献できる人材を育成します。

## 応用理工学専攻

(博士前期課程／博士後期課程)

応用理工学専攻では、基幹工学および先端理工学分野で柱となる電気電子情報工学、宇宙情報科学、機械工学、環境生命化学、原子力技術応用工学の5つのコースを設置。各コースの専門分野の教育と研究を行っています。博士前期課程では、広い視野と高度な専門知識を備え、国際的に活躍できる人材の育成、博士後期課程では、目覚ましい科学・技術の進歩に対応できる専門知識と応用能力、研究能力を備えた人材の育成を目指しています。

### 電気電子情報工学コース

電力工学、電子材料・デバイス工学、物性工学、制御工学、コンピュータ情報工学の各分野の教育と研究を行い、広い領域で革新を続ける電気電子情報工学分野の研究開発に貢献できる人材を育成します。

### 宇宙情報科学コース

宇宙環境科学、地球環境計測工学、衛星通信工学、情報処理工学の各分野の教育と研究を行い、宇宙空間時代に対応できる人材を育成します。

### 機械工学コース

材料工学、振動工学、流体工学、熱工学、機械システム工学の各分野の教育と研究を行い、あらゆる産業に関わりをもつ機械工学の分野で活躍できる人材を育成します。

### 環境生命化学コース

応用化学、環境科学、材料科学、応用生物学、生命科学、生体工学の各分野の教育と研究を行い、資源・エネルギー・地球環境・食料問題など、重要課題の解決や安全で豊かな循環型社会の構築に貢献できる人材を育成します。

### 原子力技術応用工学コース

原子力工学、原子力発電工学、放射線応用工学の各分野の教育と研究を行い、原子力発電技術分野で高度な専門知識・技術を身につけた人材を育成します。



大学院についての問い合わせ：入試広報課／☎0120-291-780

# ご相談窓口のご案内

学習・就職・学生生活など、日頃から気に懸かっていることやご心配ごとがございましたら、お気軽に下記担当課へご相談ください。

	問い合わせ先	メールアドレス
総合窓口	0776-29-7864 (庶務課)	syomu-u@fukui-ut.ac.jp
学び(教務関係)	0776-29-7865 (学務課)	kyomu-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-7870 (情報メディア課)	tosyokan@fukui-ut.ac.jp
暮らし(学生生活関係)	0776-29-2403 (学習支援室・教職支援室)	gakusyu@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-7867 (学務課)	gakusei-u@fukui-ut.ac.jp
	(医務室)	imushitsu@fukui-ut.ac.jp
進路(大学院進学関係)	0776-29-7871 (入試広報課)	kouhou@fukui-ut.ac.jp
進路(就職)	0776-29-7868 (就職支援課)	syusyoku@fukui-ut.ac.jp
大学の研究支援、社会貢献活動、同窓会	0776-29-2661 (社会連携推進課)	shakai-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-7834	futcrc@fukui-ut.ac.jp
センター管理課	0776-29-2671	
情報メディアセンター	0776-29-7873 (情報メディア課)	densan@fukui-ut.ac.jp
出納(学費納入関係)	0776-29-7854	
あわらキャンパス	0776-79-0111	

※発信元や通信の事由が的確でない電子メールに関しましては、お応えし兼ねる場合がございますのでご了承ください。



## KEI NEWS STAND

学校法人金井学園の教育情報ポータルサイト「KEI NEWS STAND」のご紹介です。フォローよろしくお願いします。

この度は、後援会報の貴重な紙面をお借りして、学校法人金井学園「教育情報ポータルサイト」を紹介させていただきます。福井工業大学福井キャンパスの敷地内に隣接する附属高等学校、附属中学校では、大学とともに地域に愛され、地域に存在感のある、地域から選ばれる学校を目指し、「すべてを学生・生徒のために」をモットーとした教育を連携しながら行っております。また、学園法人本部では、中学・高校・大学の垣根を越えて、本学園全体の教育研究活動の様子を広く一般の方々に知っていただきたいと考えながら広報の活動を行っています。

学校法人金井学園の公式ウェブサイトでは、各学校の公式ウェブサイト新着情報とリンクを貼るとともに、学園秘書室による「学園の窓」や、広報課によるマスメディア向けのプレスリリース、メディアに取り上げられた情報等の発信を行っています。さらに、今回ご紹介する総合広報ポータルサイト(入り口)を使って、独自の取材による特集ブログ(Topics)や、Facebook/Twitter/InstagramなどのSNSも利用し、さらに迅速に、幅広く、情報をお届けしています。大学後援会の皆様におかれましては、この機会に福井工業大学のウェブサイトと併せて、ぜひこのポータルサイトやSNSをフォローいただきたくご案内を申し上げます。



### 【アクセス方法】

金井学園ウェブサイト右下のロゴの部分(左の図参照)をクリックして総合ポータルサイトにアクセスしてください。  
[http://www.kanaigakuen.jp/kei\\_news\\_stand/](http://www.kanaigakuen.jp/kei_news_stand/)  
 ※スマートフォン、タブレットにも対応していますので、ぜひブックマークをしてご覧ください。

SNSのアイコンをクリックすると、Facebook, Twitter, Instagramに直接アクセスできます。



### お問い合わせ

ポータルサイトのCONTACT USに必要事項をご記入いただきご質問やご意見などをお送りください。匿名のSNSメッセージやコメントに対するお答えは出来かねる場合がございますのでご了承ください。  
 学校法人金井学園 総務部 KEI NEWS STAND (ケイニューススタンド) 運営担当

# 学内奨学金制度紹介

奨学金区分	内容
1 特待生奨学金	<p>[H27年度以前入学者]  <b>授業料50%減免</b>                      [H28年度以降入学者]  <b>学納金50%減免</b></p> <p>対象:学部2年次以上及び大学院博士前期課程                      条件:前学期末までの成績 GPA 評価3.80以上                      ※博士前期課程1年生前期:学部の成績                      それ以降は前学期の成績                      募集期間:前期・後期(年2回半期ごと)</p>
2 [H27年度以前入学者のみ] 準特待生奨学金	<p><b>授業料20%減免</b></p> <p>対象:学部2年次以上及び大学院博士前期課程                      条件:前学期末までの成績 GPA 評価3.50以上                      募集期間:前期・後期(年2回半期ごと)</p>
3 学習奨励金	<p>[H28年度以降入学者]  <b>5万円給付</b></p> <p>対象:学部2年次以上(博士前期・後期課程は対象外)                      条件:前学期の成績 GPA3.80以上かつ前学期の修得単位数が15単位以上                      募集期間:前期・後期(年2回半期ごと)</p>
4 育英奨学金	<p>[H27年度以前入学者]  <b>学納金50%減免</b>                      [H28年度以降入学者]  <b>学納金30~70万円減免</b>                      [家計急変者]  <b>学納金70万円減免</b>                      ※該当年度を適用</p> <p>対象:学部2年次以上及び大学院全学年及び家計急変者                      条件:学業成績優秀であり、経済的理由により修学に困難がある学生、又は本学の定める家計急変事由が発生した学生                      募集期間:前期・後期(年2回半期ごと)</p>
5 [H27年度以前入学者のみ] 学生生活奨学金	<p><b>月額3万円給付</b>                      ※該当年度を適用                      (前期なら前後期、                      後期なら後期のみ)</p> <p>対象:学部2年次以上及び大学院全学年                      条件:経済的理由により修学に困難がある学生、学期末までの成績 GPA 評価2.80以上                      募集期間:前期・後期(年2回半期ごと)</p>
6 スポーツ特待生奨学金	<p><b>大会成績等により                      学納金又は授業料減免</b>                      ※最大4年間。                      ただし継続審査あり</p> <p>対象:スポーツ・吹奏楽推薦入試による入学予定者及び学部、大学院全学年                      条件:本学の規程による</p>
7 災害特別奨学金	<p><b>被害状況により                      学納金等減免                      又は災害援助金支給</b></p> <p>対象:入学予定者及び学部、大学院全学年                      条件:本学の規程による                      募集期間:随時(ただし、被災日より1年以内)</p>
8 兄弟学費減免奨学金	<p><b>最年少にあたる学生の                      学納金50%減免</b></p> <p>対象:学園の設置する各学校に兄弟姉妹で在籍している最年少の学生                      条件:学園の設置する各学校に兄弟姉妹で在籍していること                      募集期間:毎年4月</p>
9 外国留学奨励奨学金	<p>学納金の半額を上限に、渡航費、生活補助費または、留学先学費の一部補助</p> <p>対象:本学学部生2年次以上または工学研究科1年次以上の者で交換留学生又は認定留学生である者                      条件:本学の規程による</p>
10 大学院進学奨励奨学金	<p>(第1種)  <b>学納金の50%減免</b>                      (第2種)  <b>国立大学大学院授業料標準額と本学学納金との差額を減免</b></p> <p>対象:本学が指定する入試区分で受験した入学予定者                      条件:本学の規程による</p>
11 離島・沖縄県出身者支援奨学金	<p><b>国立大学標準額と本学学納金との差額を減免</b></p> <p>対象:本学の規程による                      条件:本学の規程による                      ※最大4年間。毎年度末に継続審査有り</p>
12 特別奨励金	<p><b>資格取得もしくは優秀な成績を修めたクラブ等に奨励金支給</b></p> <p>対象:学部・大学院全学年                      条件:本学の規程による                      募集期間:随時</p>

# 平成30年度 秋季保護者個別懇談会のご案内



教職員との親睦・交流の場として、保護者個別懇談会を開催いたします。  
学修状況、就職、学生生活等についてお気軽にご相談下さい。  
多数のご出席をお待ちしております。

## 10/20<sub>土</sub>

13:00 ~ 16:00

- 会場** 福井工業大学 福井キャンパス 大学2号館
- 受付** 大学2号館1F 学生ロビー
- 参加方法** 事前申込制
- 申込方法** 福井工業大学 庶務課へ  
ホームページ(ウェブ)にて  
電話もしくは、E-mailにて  
**電話：0776-29-7864**  
**E-mail：koenkai@fukui-ut.ac.jp**
- 申込期日** 平成30年9月28日(金)

同日に大学祭を開催しております。  
ランチチケットと致しまして、大学祭模擬店にて利用できるチケットを御配り致します。

### 内 容

■ 学業、就職、学生生活、大学院進学、  
カウンセリング等に関する相談について

- 懇談順は、申込順とさせていただきます。
- 教員手配や資料準備等がございますので、事前申込をいただきますようお願い致します。
- 懇談開始時刻は、10月5日以降に事務局より随時連絡を致します。

平成30年度 福井工業大学 後援会

# 就職セミナー

## 10月20日<sub>土</sub>

10:30 ~ 14:30

**会場** 福井工業大学 福井キャンパス  
福井市学園3-6-1

### 就職セミナー

10:30 ~ 11:30

「現在の就職環境、選考活動の実態、  
保護者ができるサポート」

**講師** 相田 一成 (株)リクルートキャリア専任講師

11:30 ~ 12:00

「福井県内企業の採用状況について」

**講師** (株)リクルートキャリア 地区担当

◆昼食：大学祭模擬店(チケット配布)

### 個別相談

13:00 ~

“聞いてみたい？  
あんなこと & こんなこと”

**対応** 本学/キャリアセンター職員

例えば、  
就活への手助け、  
アドバイスの  
ノウハウ  
etc

申し込み先・お問い合わせ

後援会ホームページより、Web申込み可能

福井工業大学 後援会事務局 TEL:0776-29-7864

**重要**

申込後、受付完了メールをお送り致します。「koenkai@fukui-ut.ac.jp」からのメールを受信できるように設定をお願い致します。

申込期日/平成30年9月28日(金)

親にしかできない、  
子供へのサポート



第55回 福井工業大学 大学祭

平成30年 10月 20日 土

21日 日

LOVE



Main Event



ポップコーン



今年も後援会で**模擬店**を出店します!